

札幌でスポーツボランティアならスマサポ！

with smile

vol. 70

2026. 02/03

〈特集〉

数字で振り返る

オリンピック・パラリンピックの
ボランティア



北海道を拠点として
スポーツシーンの第一線で活躍する
アスリートやスタッフのみなさんに
気になることを聞いてみました！

パラリンピアン（リオデジャネイロ 2016）
車いすテニス

にじょう みほ
二條 実穂

シグマクシス・グループ所属

自己紹介と最近の活動をお聞かせください。

北海道深川市生まれ。大工として働いていた23歳のとき、建築現場の足場から落下し脊髄を損傷、車いすでの生活になりました。退院後すぐに始めた車いすテニスで徐々に活動の場を広げ、プロのテニスプレイヤーとして、数多くの世界大会に出場。2016年には、リオデジャネイロパラリンピックに日本代表として出場し、ダブルスで4位という結果を残すことができました。

2019年に現役を引退し、現在は現役中から続けてきた講演や、車いすテニス教室などを通じて、バラスポーツの振興・発展に取り組んでいます。また、東京都福祉のまちづくり推進協議会の委員を務めるなど、日本のバリアフリー推進に向けても幅広く活動しています。

二條さんが出場した世界大会でのエピソードを教えてください。

オーストラリアでの大会に出場したときのことで。惜しくも決勝で敗れ、準優勝に終わった試合直後、その試合に入ってくれていたボールキッズが私のもとに駆け寄ってきて「おめでとう！」と声をかけてくれました。私は、とっさに優勝者を自分と間違えたのだと思い「チャンピオンはあっちの選手だよ！」と答えました。すると彼は「知ってるよ！でも、あなたのプレーも準優勝という結果も素晴らしくて、おめでとうを伝えに来たの！」と言ってくれたのです。

その言葉に、自分の答えや結果の受け止め方を反省したということがありました。勝敗はもちろんですが、どんな結果でも真摯に受け止める気持ちが大切だと改めて感じた出来事でした。



▶ 講師を務める車いすテニス教室での様子。参加者と一緒に喜ぶボランティアスタッフ。

◀ オーストラリアで開催された大会にて、試合後にボールキッズと撮影。

Quiz

車いすテニスとテニスでは、
車いすテニスの方がコート
のサイズが小さい。○か×か？

こたえは「事務局からのお知らせページ」をチェック！



現在、北海道内の小中学校にて「二條実穂 Dream Power Project」の活動を
されていますが、どのようなプロジェクトなのでしょう？

現役引退を機に、現役中に応援いただいたことへの恩返しをどのようなかたちで実現できるのかを、より考えるようになりました。これまで私自身が周りの方々の言葉に勇気づけられてきたように、これからの未来を担う子どもたちへ前を向くきっかけとなる言葉を「授業」というかたちで届けられたらと考え、2023年にこのプロジェクトを立ち上げました。

これまで札幌市内を含む100校を超える学校で実施させていただきました。子どもたちが夢に近づく一歩となってくれたら嬉しいです。



スポーツイベントを支えるボランティアに向けて、メッセージをお願いします！

現在の活動のなかで、車いすテニス教室の講師を務めることもあります。そこではボランティアの方々のサポートに、いつも本当に助けられています。参加者のショット一球一球に声をかけ、一緒に一喜一憂して下さっている場面を多く見かけます。

終了後にボランティアの方から「参加者の成長を感じられて自分も嬉しい。それが自分の楽しみになっている。」という言葉をいただいたことがあり、とても嬉しく感じました。テニスをしてボールを追いかけているのは参加者ではありますが、ボランティアの方も同じ気持ちで活動くださっている。ともに歩んでくださる皆さんの存在が、スポーツの現場を温かく、素晴らしいものにしていただいているのだと感じています。ありがとうございます！

テレビで放送されていたミラノ・コルティナ大会を見ると、**マリンブルーのユニフォーム**を着たスタッフをよく見かけたのではないのでしょうか。実は、彼らこそ**ミラノ・コルティナ 2026 大会のボランティアスタッフ**なんです。ミラノ・コルティナ 2026 のボランティアはテレビに映る競技会場だけでなく、選手村や多様なサービスをささえる**30** のエリアで活動し、その役割はおよそ**70** にも及びました。



ミラノ・コルティナ 2026 大会のボランティアスタッフは「**Team 26**」と呼ばれ、**98** の国と地域から選ばれた**1万8千人**が従事。応募総数は、なんと**13万5千件**を超えたそうです。その多くが国内から選出されており、Team26 として活動するためにイタリアへ渡った人は**2千人**。その背景には、イタリア各地が会場となる「**広域開催**」のため、**各会場の特性や地域をよく理解している地元のボランティアが求められた**ことがあるようです。

一方、やむなく落選となった応募者は**約12万人**に上りますが、ミラノ・コルティナ大会では**オリンピック史上初めての取り組み**として、イタリア国内**4つ**の大学と連携し、落選者が無料でオンラインセミナーを聴講できる環境整備がなされました。

これは、落選者にボランティアへの熱意をキープしてもらいつつ、**オリンピック・パラリンピック以外の大会でも活躍できる人材育成**（＝ボランティアのレガシー）を目的としており、「**インクルージョン**（包摂性*）」「**健康と安全**」「**尊重心**」「**オリンピック・バリュー**」など多岐にわたるテーマが取り上げられました。

数字で
振り返る

オリ・パラのボランティア

そのほか、運営関係者やオリンピック・パラリンピアンとのミーティング、地元の IT サービス企業と連携したボランティア応募システムの構築などが行われ、今後の**オリンピック・パラリンピック**においても**継続的な取り組み**として期待されています。

さて、**1万8千人**のボランティアが動員されたミラノ・コルティナ大会ですが、2024 年のパリ大会ではその**2倍以上**となる**4万5千人**のボランティアが大会運営をささえました。そして再来年、**約40の会場**とその**周辺地域**で開催される**2028年のロサンゼルス大会**でも、ミラノ・コルティナ大会と同程度のボランティアが必要となる見込みです。



ロサンゼルス大会の日程は、〈オリンピック〉2028年7月14日～30日、〈パラリンピック〉2028年8月15日～27日で、大会期間中に活動する**ボランティアの募集は今年の夏に開始される**予定です。ボランティア情報を随時受け取りたい方は、ロサンゼルス大会の公式ボランティアページからメールアドレスを登録するのがおすすめです。

そのロサンゼルス大会のボランティア参加条件は、**9～10日間の活動が可能、かつ現地でのトレーニングに参加できること。上級レベルの英語能力も必須**です。また、選ばれたボランティアは自身で入出国や宿泊地などを手配することが条件とされています。心当たりのある方は、2028年に向けてぜひチャレンジしてみたいかがでしょうか。

*包摂性とは、障がいの有無や性別、国籍や価値観などの違いによって差別や排除を受けず、1人ひとりが社会活動に完全に参加できることを指します。

事務局からのお知らせ



小学校スキー学習支援ボランティア ご協力ありがとうございました！

2月末に市内すべての小学校でスキー学習が終了しました。スマサポ事務局には小学校側からお礼の声が寄せられています。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました！なかには悪天候やインフルエンザによる学級閉鎖などで、残念ながらボランティア派遣自体がなくなってしまった方もいらっしゃるかと思いますが、ほとんどの方が予定通り、一生懸命にスキー学習に取り組む児童のサポート役として従事してくださいました。また、毎年のスキー学習支援ボランティアを通して、児童の笑顔や上達を見ることができたというご感想もいただいています。

この「地域をささえる」「札幌のウインタースポーツをささえる」ことができる小学校スキー学習支援ボランティアへ、来年度もあたたかいご支援をいただけますと幸いです。

スマサポ研修「札幌オリンピックミュージアムで冬季オリンピックを学ぶ」実施しました

3月3日（火）、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、冬季オリンピックの面白さやウインタースポーツへの理解を深めていただく機会として、宮の森の大倉山ジャンプ競技場に隣する札幌オリンピックミュージアム内でスマサポ研修を実施しました。学芸員の解説のもと、実際に使用されたウェアや用具を見ながら冬季オリンピックの歴史を振り返り、また、1972年冬季オリンピック札幌大会のレガシーについても学びました今年1月のリニューアルオープン後、映像やシステムが一新された冬季競技を体験できるシミュ



レーションエリアでは、スキージャンプやボブスレーなどをスマサポの皆さま同士で和気あいあいと挑戦していただきました。そのほか、日本人選手も大活躍だったアルペンスキー女子スーパー大回転（パラ）で使われるチェアスキーという専用器具も間近で見ることができ、冬季パラスポーツの世界がより身近に感じられたことと思います。

スマサポ事務局では来年度も引き続き研修を実施予定です。スポーツボランティアに関する研修を始めとする様々なテーマを検討していますので、ご都合の合う方はぜひご参加ください！



Quiz こたえ

✕です。テニスローターのサインはサーフエース（種類）、ネットの高さは同じです。また、ボールはラケットなども同じものを使用しています。

これからの派遣・研修予定

レバンガ北海道ホームゲーム

3月27～29日

ブルーウォーク 2026 春

4月5日

札幌でスポーツボランティアならスマサポ！

スマイル・サポーターズ（略称：スマサポ）は札幌市内をはじめ、北海道内外にお住まいの約1,330名の方にご登録をいただいています。スマサポの皆さまには、子ども向けイベントやマラソン大会、国際的な試合やプロスポーツなど、年間50件近くのスポーツ大会・イベント（主に札幌市内）でのボランティア情報をご案内しています。ご自身の都合に合わせて活動できますので、情報だけでもほしいという方はぜひご登録ください。



登録・年会費
無料!